

校訓



**学校教育目標** 自他ともに、よりよく生きようとする心豊かで活力ある児童の育成

**めざす児童像**

- かしこい子 ・自ら考え、自ら学ぼうとする子
- つよい子 ・がまん強く、最後までがんばる子
- やさしい子 ・思いやりの心を持ち、互いに認め合える子

**めざす学校像**

<p><b>【子どもの姿】</b> ◎心が通い合い、学校へ来るのが楽しい</p> <p>◎学習したことがよく分かり、学ぶ意欲がもてる</p> <p>◎自分の長所を知り、自信を持って自分を発揮できる</p>	<p><b>【教師の姿】</b></p> <p>◎一人一人の子どもに寄り添い、子どもの良さを引き出す</p> <p>◎困ったときに相談できて、協力して仕事ができる</p> <p>◎実践を語るができる</p> <p>◎学び続けることができる</p>	<p><b>【地域との協力】</b></p> <p>◎保護者・地域の声や願いに耳を傾け、教育活動に生かす</p> <p>◎保幼小中連携、地域と協力し、多様な目で子どもを育てる</p> <p>◎地域学習を通し、郷土愛を育てる</p>	<p><b>【研究主題】</b> 主体的に学び 確かな学力を身につける ~わかる・できる・つながる指導の工夫 (中心教科：算数) ~</p>
--	---	---	--

- 【地域・保護者の願い】**
- ・確かな学力を身につけてほしい
  - ・夢や希望をもって学んでほしい
  - ・元気なあいさつができるようになってほしい
  - ・思いやりのある子になってほしい
  - ・地域を愛する子になってほしい

- 【福井市学校教育目標】**  
郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成
- 【福井市学校教育方針】**  
学びをつなぐ・未来につなげる～『つながる』を大切にしたい学校づくり～

- 【社中学校区教育の見直しと再構築】**
- 社中学校区でめざす子どもの姿「地域を創造する子」
  - 3つの部会（学力向上、豊かな心育成、子ども支援）は存続するが、実践内容を精選し、より充実した実践をめざす。

- 【家庭・地域・学校協議会】**
- ・積極的な情報発信や学校公開
  - ・地域の人材・自然や歴史等を活かした地域学習
  - ・学校ボランティアの募集
  - ・児童の地域行事への参加

**重点目標**

<p><b>わかる授業づくり</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業</li> <li>② 基礎基本の定着</li> <li>③ 積極的な授業公開と校内研修</li> </ol>	<p><b>居場所づくり・絆づくり</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① わかりあえる学級づくり (子どものウェルビーイングにつながる)</li> <li>② いじめや不登校の未然防止、早期発見</li> <li>③ 「with コロナ」下での異学年交流の工夫と実施</li> </ol>	<p><b>心づくり・体づくり</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 健康な身体と元気づくり</li> <li>② 特別支援教育・教育相談の充実</li> <li>③ 人権教育・道徳教育の推進</li> </ol>	<p><b>家庭・地域から信頼される学校づくり</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 積極的な情報発信と学校公開</li> <li>② 近隣幼小中学校との連携を強化</li> <li>③ 公民館、関係機関との連携協力の推進</li> </ol>
--	--	---	--

**「子ども」と「自己有用感」をつなぐプロジェクト 具体的な取組**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学習状況の実態把握と分析をし、活用を図る。</li> <li>・効果的な教科書の使い方・ICT 活用の実施と検討を行う。</li> </ul> <p>(授業に主体的に取り組んでいる・・・児85%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の学習会や一人一授業を行ったり、外部講師を招いての研修を行ったりして、授業に取り入れていく。</li> </ul> <p>(本校は、主体的に学べる授業の実践に熱心に取り組んでいる・・・教90%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の主体的な活動につながる場の設定を行うなど、学級活動の工夫、充実を図る。(学校が楽しい・・・児85%)</li> <li>・学級活動、委員会活動等において児童に一人一役を与える。(自分はみんなのために役に立つことができる・児85%)</li> <li>・「いじめアンケート」の実施方法を工夫し、より深い児童理解、いじめの早期発見、早期解決を行う。(自分はいじめを見たら、大人に知らせたり、止めたりすることができる・・・児85%)</li> <li>・実施方法を工夫し、月1回縦割り活動を行う。(みんなで何かをするのは楽しい・・・児90%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起きる時間や睡眠時間等、生活習慣のリズムを整えることの大切さを指導し、アンケートを実施して啓発する。(健康な体作りに取り組んでいる・・・保85%)</li> <li>・「心のお天気」や教育相談週間の設定とSC等の活用により積極的な教育相談を展開し、個別支援に生かす。(相談すると丁寧に対応してくれる・児90%)</li> <li>・行事ごとに学級・学年で目標を考えさせ、達成させることで、目標をもつ習慣と達成したときの喜びを味わわせる。(将来の夢やめざす目標をもっている・・・児85%)</li> <li>・人権週間に合わせて全校道徳や読み聞かせ等を行い、人権意識を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、電子メール等により学校から積極的な情報発信を行う。(学校は教育方針や教育内容を適切に伝えている・・・保90%)</li> <li>・児童、保護者に相談しやすい体制を整え、きめ細やかな支援に努める。(学校は相談しやすい・・・保80%) (温かく指導している・・・保85%)</li> <li>・「困った」が言える、受け止められる職員室づくりに努める。(意欲をもって働くことができる・・・教90%)</li> <li>・長期休業前には、家庭教育啓発チラシ(基本的な生活習慣、情報モラル等)を配布し啓発を図る。</li> </ul>
--	--	--	--

**【業務改善のための取組】**

- ・各種アンケートにICTを活用し、集計等の効率化を図る。
- ・職員会議や校内研修等の「時間」を大切にす。
- ・通知表の簡略化を行う。
- ・1、2年生は1学期の授業時数を1時間減らす。
- ・長期休業前後は1校時程度下校時刻を早め、教員が業務に取り組む時間を確保する。
- ・保護者からの欠席等の連絡は、QRコードを読み取り、スマホやPCから行う。